

平成23年度

中国地方建設技術開発交流会

[広島県会場]

『安心で安全な暮らしの実現と地域活力の向上へ』

開催日 : 平成23年10月28日(金)

場 所 : 広島県民文化センター

主催 : 中国地方建設技術開発交流会 実行委員会

# 平成23年度中国地方建設技術開発交流会(広島県会場)

## 安心で安全な暮らしの実現と地域活力の向上へ

日付：平成23年10月28日(金)

場所：広島県民文化センター

入場無料 申込不要

1. 開会挨拶		13:00 ~ 13:05
	広島県 土木局 局長 高垣 広徳	
2. 基調講演		
① 社会基盤構造物の維持管理における課題と要素技術	広島大学大学院 工学研究院 教授 藤井 堅	13:05 ~ 14:05
3. 学官技術発表		
① 第2音戸大橋(仮称)上部工大ブロッカー括架設	広島県 西部建設事務所 呉支所 工務第一課 桑垣 誠	14:05 ~ 14:25
② 後施工型のせん断補強工法を活用した広島空港地下トンネル耐震補強工事について	国土交通省 広島港湾・空港整備事務所 工務課 岡崎 大宜	14:25 ~ 14:45
4. 技術開発支援制度 開発技術発表		
① バイオリアクターを用いた富栄養化水界からのリン資源回収	広島大学大学院 工学研究院 社会基盤環境工学専攻 教授 大橋 晶良	14:45 ~ 15:05
(休憩)		
5. 民間技術発表		
① 地盤改良複合杭基礎工法 ~杭と地盤改良体がひとつになって地震に強い基礎をつくれます~	日本建設機械化協会((株)竹中土木 技術・生産本部 技術部) 市川 晃央	15:15 ~ 15:35
② 既設構造物の耐震補強、液状化対策を目的とした地盤改良技術	日本建設業連合会(鹿島建設(株) 技術研究所 上席研究員) 田中 俊行 藤崎 勝利	15:35 ~ 15:55
6. 特別発表		
① 東日本大震災における国土交通省の取組「TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)」の活動概要	国土交通省 中国地方整備局 企画部 防災課 課長補佐 古南 弘史	15:55 ~ 16:15
② 津波被災調査への取り組み	建設コンサルタンツ協会(復建調査設計(株) 保全防災部 防災技術課 課長) (アジア航測(株) 東北コンサルタント部 環境計画課 課長) 中井 真司 市橋 理	16:15 ~ 16:35
③ 東日本大震災で損傷を受けた鋼橋について~鋼橋の調査報告と協会の取組み~	日本橋梁建設協会(瀧上工業株式会社 企画管理室 技術企画グループ) 亀山 誠司	16:35 ~ 16:55
7. 閉会挨拶	国土交通省 中国技術事務所長 森川 数美	16:55 ~ 17:00

### 関係団体(順不同)

主催：中国地方建設技術開発交流会 実行委員会(事務局：国土交通省 中国技術事務所) 構成団体  
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、広島市、岡山市、国土交通省中国地方整備局  
(財)鳥取県建設技術センター、(公財)島根県建設技術センター  
(財)岡山県建設技術センター、(財)山口県建設技術センター  
中国土木施工管理技士会連合会、建設業協会中国ブロック協議会、(社)中国建設弘済会、(社)日本建設業連合会  
(社)日本道路建設業協会、(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会、(社)日本橋梁建設協会  
(社)建設コンサルタンツ協会、(社)日本建設機械化協会、(社)全国コンクリート製品協会、(社)日本鉄鋼連盟  
(社)全国特定法面保護協会、(社)日本造園建設業協会、全国道路標識・標示業協会、(社)建設電気技術協会  
(社)日本埋立浚渫協会

共催：(公社)地盤工学会中国支部、(公社)土木学会、(公社)日本技術士会中国本部

### 中国地方建設技術開発交流会は下記団体の継続学習制度(CPDプログラム)の認定を受けております。(順不同)

(社)空気調和・衛生工学会、(社)建設コンサルタンツ協会、(公社)地盤工学会、(社)全国測量設計業協会連合会  
(社)全国土木施工管理技士会連合会、(公社)土木学会、土質・地質技術者生涯学習協議会、(社)日本環境アセスメント協会  
(公社)日本技術士会中国本部、(社)日本建築士会連合会、(社)日本造園学会、(社)日本都市計画学会

※やむを得ず開催内容に変更が発生する場合は御了承ください。

# 平成23年度 中国地方建設技術開発交流会 付録資料

## 平成23年度 各会場の発表課題一覧

### 鳥取県会場 平成23年10月20日(木) とりぎん文化会館

#### 基調講演

- ① 東日本大震災復興計画における緑の柔構造都市の創造を視座とした大地創再の射程  
鳥取環境大学 環境情報学部 建築・環境デザイン学科 教授 中橋 文夫 13:05 ~ 14:05

#### 学官技術発表

- ① 何故、山陰地方に内陸大地震が発生するのか—比抵抗研究からみえるもの—  
鳥取大学大学院 工学研究科 准教授 塩崎 一郎 14:05 ~ 14:25
- ② 殿ダムカーテングラウチング河床部の施工について  
国土交通省 殿ダム工事事務所 工事課 係長 玉井 順也 14:25 ~ 14:45
- ③ 治水効果の早期発現を目指した河川改修計画(由良川)の見直しについて  
鳥取県 中部総合事務所 県土整備局 河川砂防課 久野 慶太 14:45 ~ 15:05

#### 技術開発支援制度 開発技術発表

- ① 中国地方におけるマイクロパイルとプレキャストコンクリート製品を組み合わせた杭基礎構造物建設の省力化、効率化技術の開発  
極東興和株式会社 稲富 芳寿 15:15 ~ 15:35

#### 民間技術発表

- ① 1,000m超の長距離圧送を実現した高強度モルタル吹付『キロ・フケール工法』  
日本建設業連合会(日特建設株式会社 技術本部 主任) 窪塚 大輔 15:35 ~ 15:55
- ② 延長床版システムプレキャスト工法  
日本道路建設業協会(株式会社ガイアート・K 本社 技術開発部) 北口 航 15:55 ~ 16:15

#### 特別発表

- ① 東日本大震災における国土交通省の取組「TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)」の活動概要  
国土交通省 中国地方整備局 企画部 防災課 課長 元山 勉 16:15 ~ 16:35
- ② 東日本大震災から学ぶもの—鳥取の津波防災計画について—  
鳥取大学大学院 工学研究科 教授 松原 雄平 16:35 ~ 16:55

### 島根県会場 平成23年11月2日(水) くにびきメッセ

#### 基調講演

- ① 人口減少社会における地域再編と社会資本整備のあり方—地域再生の具体像—  
島根大学 教育学部 准教授 作野 広和 13:05 ~ 14:05

#### 学官技術発表

- ① RFID を用いたトラック運行管理システムの開発  
松江工業高等専門学校 電気工学科 講師 片山 優 14:05 ~ 14:25
- ② 地中熱を利用した無散水式融雪工について  
島根県 県央県土整備事務所 行武 宗軌 14:25 ~ 14:45

#### 技術開発支援制度 開発技術発表

- ① クリンカアッシュの性能評価と利用拡大に関する研究  
復建調査設計株式会社 大阪支社 地盤技術課 若槻 好孝 14:45 ~ 15:05

#### 民間技術発表

- ① 直立浮上式防波堤による津波制御技術  
日本建設業連合会((株)大林組 土木本部 海洋土木技術部 副部長) 小林 真 15:15 ~ 15:35
- ② ドルフインゲート(ライジングセクタゲート)の開発・事例紹介  
日本建設機械化協会(株式会社IHIインフラシステム 水門技術部 設計課) 福島 憲明 15:35 ~ 15:55
- ③ 現場発生土砂を有効活用して砂防施設を構築する工法(SBウォール工法)  
全国コンクリート製品協会(共和コンクリート工業株式会社) 樋口 経太 15:55 ~ 16:15

#### 特別発表

- ① 東日本大震災における国土交通省の取組「TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)」の活動概要  
国土交通省 中国地方整備局 企画部 防災課 課長補佐 古南 弘史 16:15 ~ 16:35
- ② 東日本大震災における河川堤防の被災状況と被災原因分析  
建設コンサルタツ協会(基礎地盤コンサルタツ株式会社 中国支社 技術部 統括部長) 砂川 伸雄 16:35 ~ 16:55

### 岡山県会場 平成23年10月26日(水) さん太ホール

#### 基調講演

- ① 異常気象による土砂災害の新しい安定評価法  
岡山大学大学院 環境学研究科 教授 西垣 誠 13:05 ~ 14:05

#### 学官技術発表

- ① 百間川河口水門ゲート増設工事におけるライジングセクタゲートの施工報告について  
国土交通省 岡山河川事務所 百間川出張所 所長 大賀 祥一 14:05 ~ 14:25

#### 民間技術発表

- ① 堆積物から読み解く津波現象  
岡山県推薦(土質工学株式会社 技術部 次長) 橘 徹 14:25 ~ 14:45
- ② アスファルト舗装の地震対策型段差抑制工法  
日本道路建設業協会(株式会社NIPPO研究開発本部技術研究所 主任研究員) 石垣 勉 14:45 ~ 15:05

- ③ スマートサイトシステムによる施工現場の省エネ・節電の一元管理  
日本建設業連合会(清水建設株式会社 土木技術本部 技術開発部 主査) 横山 勝彦 15:15 ~ 15:35
- ④ 津波高潮防災技術について  
日本埋立浚渫協会(五洋建設株式会社 技術研究所 係長) 西畑 剛 15:35 ~ 15:55

**特別発表**

- ① 東日本大震災における国土交通省の取組「TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)」の活動概要  
国土交通省 中国地方整備局 企画部 防災課 課長 元山 勉 15:55 ~ 16:15
- ② 東日本大震災がもたらしたもの -被害の特徴と教訓など-  
建設コンサルタツ協会(株式会社エイト日本技術開発 最高顧問 震災対策・復興企画統括) 佐伯 光昭 16:15 ~ 16:35
- ③ 東日本大震災に係る岡山県の被災地支援について(福島県における応急仮設住宅の建設支援)  
岡山県 土木部 都市局 建築指導課 村下 正晃 16:35 ~ 16:55

**広島県会場 平成23年10月28日(金) 広島県民文化センター**

**基調講演**

- ① 社会基盤構造物の維持管理における課題と要素技術  
広島大学大学院 工学研究院 教授 藤井 堅 13:05 ~ 14:05

**学官技術発表**

- ① 第2音戸大橋(仮称)上部工大ブロック一括架設  
広島県 西部建設事務所 呉支所 工務第一課 桑垣 誠 14:05 ~ 14:25
- ② 後施工型のせん断補強工法を活用した広島空港地下トンネル耐震補強工事について  
国土交通省 広島港湾・空港整備事務所 工務課 岡崎 大宜 14:25 ~ 14:45

**技術開発支援制度 開発技術発表**

- ① バイオリアクターを用いた富栄養化水界からのリン資源回収  
広島大学大学院 工学研究院 社会基盤環境工学専攻 教授 大橋 晶良 14:45 ~ 15:05

**民間技術発表**

- ① 地盤改良複合杭基礎工法 ~杭と地盤改良体がひとつになって地震に強い基礎をつくります~  
日本建設機械化協会((株)竹中土木 技術・生産本部 技術部) 市川 晃央 15:15 ~ 15:35
- ② 既設構造物の耐震補強、液状化対策を目的とした地盤改良技術  
日本建設業連合会(鹿島建設(株) 技術研究所 上席研究員) 田中 俊行  
藤崎 勝利 15:35 ~ 15:55

**特別発表**

- ① 東日本大震災における国土交通省の取組「TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)」の活動概要  
国土交通省 中国地方整備局 企画部 防災課 課長補佐 古南 弘史 15:55 ~ 16:15
- ② 津波被災調査への取り組み  
建設コンサルタツ協会(復建調査設計(株) 保全防災部 防災技術課 課長) 中井 真司  
(アジア航測(株) 東北コンサルタント部 環境計画課 課長) 市橋 理 16:15 ~ 16:35
- ③ 東日本大震災で損傷を受けた鋼橋について~鋼橋の調査報告と協会の取組み~  
日本橋梁建設協会(瀧上工業株式会社 企画管理室 技術企画グループ) 亀山 誠司 16:35 ~ 16:55

**山口県会場 平成23年11月8日(火) 山口県健康づくりセンター**

**基調講演**

- ① 橋の健康診断の難しさと未来展望  
山口大学大学院 理工学研究科 環境共生系専攻 教授 宮本 文穂 13:05 ~ 14:05

**学官技術発表**

- ① 「水辺の小わざ」魚道の有効性に関する研究  
山口県 土木建築部 河川課 柳井 竜 14:05 ~ 14:25
- ② 路床における飽和度の変化に伴う変状評価に関する研究  
山口大学大学院 理工学研究科 環境共生系専攻 教授 中田 幸男 14:25 ~ 14:45
- ③ 木と地区事前通行規制に関する一考察  
国土交通省 山口河川国道事務所 道路管理第2課 飯塚 晃史 14:45 ~ 15:05

**技術開発支援制度 開発技術発表**

- ① 建設現場における簡易粉じん測定法  
山口大学大学院 理工学研究科 教授 進士 正人 15:15 ~ 15:35

**民間技術発表**

- ① 非接触型渦流探傷装置による港湾鋼構造物の肉厚測定  
日本埋立浚渫協会(若築建設(株) 建設事業部門 技術設計部 次長) 森 晴夫 15:35 ~ 15:55
- ② 鋼矢板による盛土構造物の補強・復旧  
日本鉄鋼連盟 加藤 篤史 15:55 ~ 16:15  
(一般社団法人鋼管杭・鋼矢板技術協会 新日本製鐵(株) 建材開発技術部土木基礎建材技術グループ))

**特別発表**

- ① 東日本大震災における国土交通省の取組「TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)」の活動概要  
国土交通省 中国地方整備局 企画部 防災課 課長補佐 古南 弘史 16:15 ~ 16:35
- ② 東日本大震災における津波被災概要と今後の対策について  
建設コンサルタツ協会(パシフィックコンサルタツ株式会社 国土保全技術本部 港湾部) 石河 雅典 16:35 ~ 16:55

中国地方建設技術開発交流会の過去の発表論文を、中国技術事務所ホームページに掲載しています。  
ホームページアドレス <http://www1.cgr.mlit.go.jp/ctc/index.htm>

①中国技術事務所ホームページトップ

国土交通省 中国技術事務所  
Chugoku Technical and Engineering Office

Google 検索

ウェブ全体から検索 サイト内検索

NETIS 技術情報 災害対策 研修・講習 事務所紹介 入札・契約情報

◆◆◆ 新着情報 ◆◆◆ >お知らせ >>記者発表

随時募集 平成23・24年度の災害時に応急対策活動等に協力していただける協定締結業者を募集します。

11/09/30 災害対策講座とバリアフリー教室を開催します  
～広島市南区民生委員児童委員協議会(高齢者福祉部会)～

11/09/15 「公共工事等における新技術活用促進説明会」の参加技術を募集します

11/07/19 橋梁点検車の操作訓練を実施します

11/06/26 排水ポンプ車と照明車の操作訓練を実施します

11/04/21 災害対策講座とバリアフリー教室を開催します。～府中町北部民生委員児童委員協議会福祉部会～

11/01/27 バリアフリー体験を開催します。～広島市立船越小学校6年生～

NETIS 技術情報

- 一般公開NETIS
- 新技術活用システムの概要
- NETIS申請

- 中国地方建設技術開発交流会
- 出前講座
- 用語説明

ここをクリック

②中国技術事務所の中国地方建設技術開発交流会のページ

国土交通省 中国技術事務所

中国地方建設技術開発交流会

交流会とは

公共工事を取り巻く環境は、ここ数年市場の国際化、内外価格差および高齢化社会を背景としたコスト縮減要請等、急速に変化してきています。

これらの変化に対応するための方策の一つとして、建設技術開発を推進させることは非常に重要であり、そのために官・民・学が連携し、普及・活用の取り組みを行う必要があります。

中国地方建設技術開発交流会は、官民学の新技術・新工法等の普及、活用を図るための技術交流を目的として平成9年度より行っており、中国地方各地で開催しています。

交流会には毎年のテーマがあり、平成23年度は特別テーマとして、「東日本大震災への対応と復興に向けて」とした課題も発表されます。

聴講のための申込は不要です。入場料も無料です。開催当日に会場で聴講受付を行います。建設系CPDプログラムにも登録されています。当日開会前にCPD受講希望者の受付を行います。

ここから過去のテキストメニューへ

過去に発表された技術論文

平成23年度交流会プログラム

トップページへもどる

## 交流会関連情報 新技術について

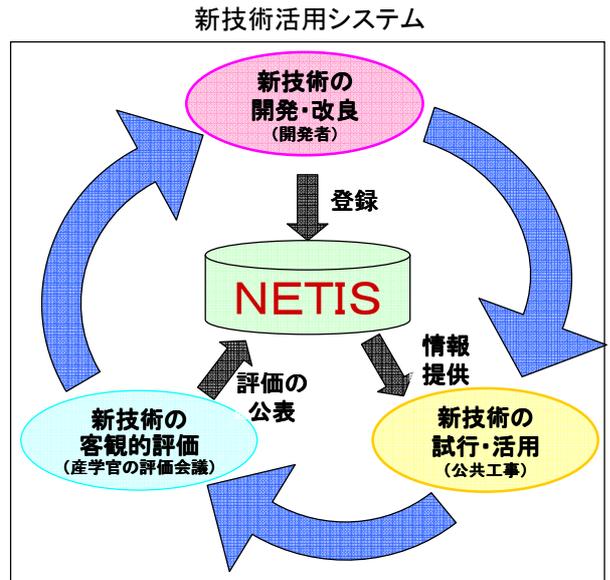
### 公共工事における新技術活用システム

～民間で開発された技術を積極的に活用するために～

国土交通省では、民間等で開発された優れた技術を公共工事等において積極的に活用していくために「新技術活用システム」を運用しています。

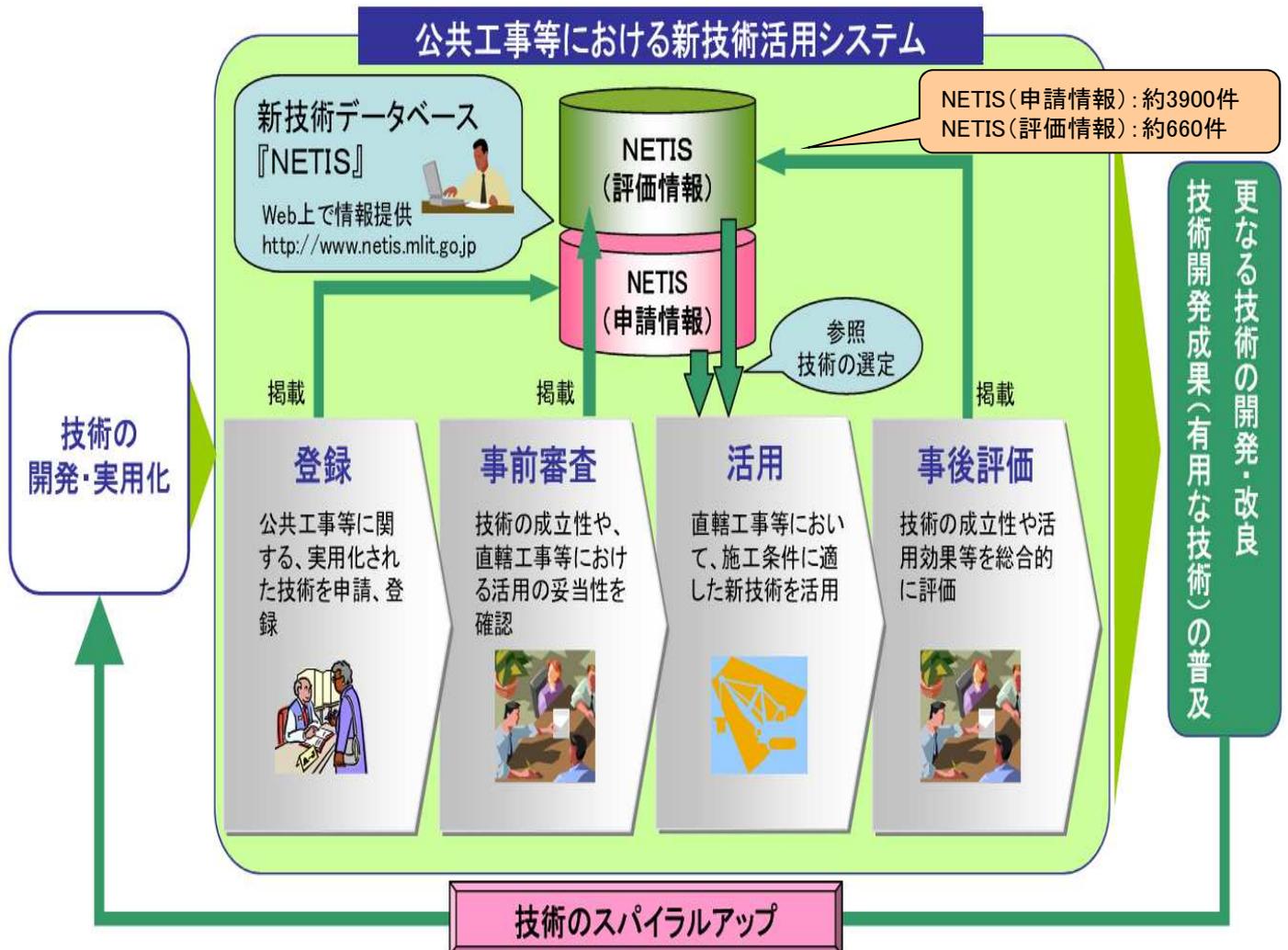
平成13年度より新技術の情報を共有及び提供するためのデータベース『NETIS(ネティス)』を一般公開し、新技術の情報を誰でも入手することが可能となりました。また、平成18年度からは、登録技術の活用評価を行い、評価結果に基づき「有用な新技術」を選定し、更なる技術開発を推進しています。

【NETISホームページ】 <http://www.netis.mlit.go.jp/>



### 技術開発から活用評価までの流れ

技術開発された新技術は、NETIS(申請情報)に掲載しています。直轄工事等で活用された新技術は、産学官で構成される評価会議で活用評価され、その結果をNETIS(評価情報)に掲載しています。



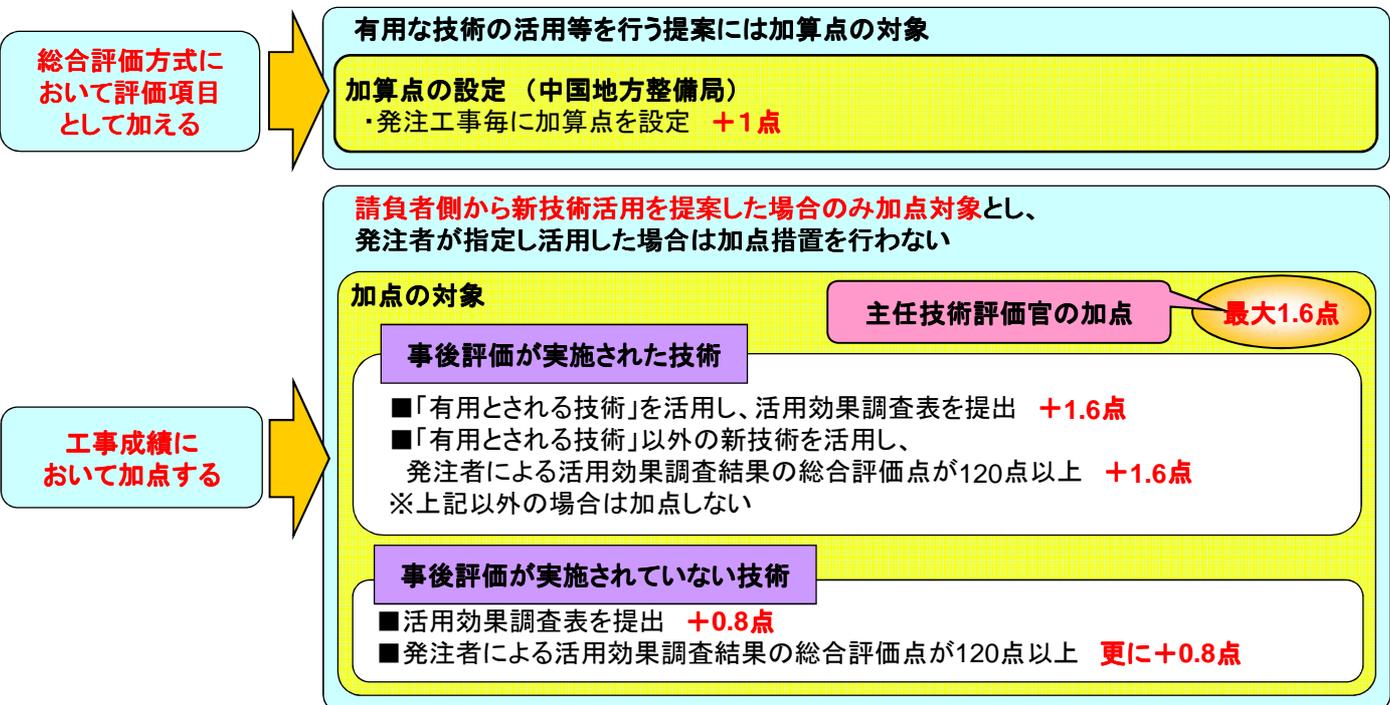
# 事務局「中国技術事務所」からの御案内

## 有用な新技術

活用評価で「有用な新技術」と位置付けられた新技術は、工事成績評定での加点(発注者指定型を除く)や設計業務の比較検討において対象技術にされるなどのインセンティブが発生します。

位置付け	取り組み事項
推奨技術	公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された、画期的な新技術。または、画期的だが、更なる発展を期待する部分がある新技術。
準推奨技術	
活用促進技術	特定の性能又は機能が著しく優れている等の技術で、発注者指定型等により活用に努める。
設計比較対象技	技術の優位性が高く、安定性が確認されている技術であり、設計業務において比較検討する。
少実績優良技術	技術の優位性が高いが、直轄工事等における実績が少ないため、技術の安定性が確認されるまで間、活用に努める。

## 新技術活用による施工者のインセンティブ



※「有用とされる技術」とは、推奨技術、準推奨技術、設計比較対象技術、活用促進技術、少実績優良技術 となります。

## 新技術相談窓口

中国技術事務所に“新技術活用相談窓口”を設置しました。新技術の事であれば、何でもお気軽にご相談ください。



色々な新技術が登録されてるけど、「(例)雨天時でも使用出来るポットホール補修材」はどんなものがあるの？

新技術を使いたいが、どうやって検索して良いか分からない！



こんなお悩みはコチラどうぞ

◆新技術活用相談窓口◆  
 中国技術事務所 施工調査課 井場、森山  
 082-822-2340(代)  
 そうだん  
 soudan-netis@cgr.mlit.go.jp

